

# 不祥事根絶に向けた取組

ひたちなか市立那珂湊中学校

教職員による不祥事は、学校教育への信頼を著しく低下させてしまいますので、なんとしても根絶しなければなりません。そこで、本校では不祥事根絶に向けたコンプライアンスと厳正な校務執行のための教職員の意識改革や職場風土の改革をすべく、下記のように取り組んでいます。

## 記

### 1 職員参加型のコンプライアンス研修を定期的実施しています。

不祥事根絶のためには、体罰の防止、公金の不適切な処理の防止、飲酒運転の防止、情報漏洩の防止、盗撮を含むわいせつ行為の防止、セクハラ等の防止等、多岐にわたって取り組む必要があります。これらの各事案について、職員が協力し防止マニュアルを作成し、校内研修会でグループ討議を行ったり、ロールプレイング等の手法を取り入れ、具体的な防止策を互いに提案したりするなどして取り組んでいます。これらコンプライアンス研修については、きちんと年間計画に位置付け、定期的実践しています。また、ボトムアップ式の研修も行っています。

### 2 不祥事ごとにチェックリストを作成し、職員が定期的点検をしています。

不祥事の原因は何か、自分の行動や意識に問題は無いかなどを明確に把握する必要があります。これらを職員が自分自身でチェックし、自己啓発をすることが重要です。そのためチェックリストを作成し、定期的点検をしています。

### 3 不祥事関連の通知文や記事等を利用し、様々な事例を職員全体で共有しています。

不祥事の内容や対象職員の処分内容等について、県教委や市教委からの通知文や記事等から、それを職員が自分自身や自校の問題に置き換えて考え、具体的な防止策を職員会議や研修会で考え、話し合っています。

### 4 管理職による職員との個人面談を重視し、悩み等の解決のための支援を行っています。

職員のストレスや個人的な悩みが不祥事の遠因にならないよう、管理職と職員一人一人との面談や日頃の面談を通して、解決法を助言したり相談にのったりするなど、きめ細かに職員を支援しています。また、悩みを一人で抱え込まない、気軽に相談できる風通しの良い職場風土をつくって参ります。

### 5 職員は生徒一人一人の人権を尊重し、高い倫理観をもって職務を遂行しています。

盗撮を含むわいせつ行為は、生徒の心や人権を深く傷付けるだけでなく、重大な犯罪行為であるということを職員が理解し、高い倫理観をもって職務に当たるように定期的な研修を実施しています。このような行為が校内で行われた場合、学校教育活動全体に多大な影響を与えること、個人所有のスマートフォンやタブレット等の機器を用いて、授業や部活動の様子を撮影することによる危険性を認識しているかなど、具体的な事例を挙げて研修をしています。

職場全体で協調し、今後も全職員が一丸となって不祥事根絶に取り組めます。また、自分の学校から不祥事が起きないよう職員一人一人がさらに自覚と努力をして参ります。